

報道関係 各位

2016年8月20日

株式会社日本レースプロモーション

8月20日(土)～21日(日)

2016年全日本スーパーフォーミュラ選手権 第4戦 ツインリンクもてぎ

予選結果速報

**関口 雄飛(イトウチュウ エネクス チーム インパル)が、
スーパーフォーミュラ初のポールポジションを獲得！**

2016年全日本スーパーフォーミュラ選手権第4戦ツインリンクもてぎの公式予選が、栃木県芳賀郡茂木町 ツインリンクもてぎロードコース(1周:4.801km)で開催されました。

2016年全日本スーパーフォーミュラ選手権は、全7戦、日本全国5カ所のサーキットを転戦しながら、11チーム(エントリー)、国内外の19名(19台)のドライバー(※)がチャンピオンを争う、アジア地域唯一の国際格式フォーミュラ選手権シリーズです。

(※)ドライバー:国内:12名、海外5カ国:7名(イギリス2名、インド、ドイツ、ブラジル各1名、ベルギー2名)

公式予選は、関口 雄飛(イトウチュウ エネクス チーム インパル)が1分33秒002のタイムで、スーパーフォーミュラ参戦4戦目にして自身初となるポールポジションを獲得しました。今大会にだけ投入されたソフトタイヤを唯一Q3まで温存出来た事が奏功しました。2番手は石浦 宏明(プロムュー/セルモ インギング)が1分33秒417のタイムで続き、3番手には野尻 智紀(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)が1分33秒677で続きました。

決勝レーススタートは、明日8月21日(日) 15時00分を予定しています。

※記録の詳細は、別添付公式通知「公式予選総合正式結果表」をご参照ください。



Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next

J SPORTS

SONY
Action Cam

NINKI-ICHI
人気酒造

スーパーフォーミュラ初となるポールポジションを獲得！ イトゥチュウ エネクス チーム インパル #20 関口 雄飛

【ご参考】

1. 全日本スーパーフォーミュラ選手権とは？

純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースです。一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートにより、1996年にフォーミュラ・ニッポンとしてスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更し現在に至っています。

2. チャンピオンシップ

2016年全日本スーパーフォーミュラ選手権は、全7戦、日本全国5カ所のサーキットを11チーム(エントラント)、国内外の19名(19台)のドライバー(※)が転戦しチャンピオンが争われる、アジア地域唯一の国際格式選手権シリーズです。

(※)ドライバー:国内:12名、海外5カ国:7名(イギリス2名、インド、ドイツ、ブラジル各1名、ベルギー2名)

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	P.P.
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

*P. P. :ポールポジション(予選1位)には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには加算されない。

*1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

*1大会2レース制の場合、最終戦に限りレース1、レース2の勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

*最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム(エントラント)が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

3. シリーズ賞典

シリーズ賞典として、年間チャンピオンドライバーには、株式会社日本レースプロモーションよりシリーズドライバーズチャンピオンカップと賞金が授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付されます。また年間チャンピオンチームには経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与されます。

4. レース車両

◎シャシー

「クイック・アンド・ライト」をキーワードに開発されたSF14(イタリアダラーラ社製)を2014年より採用。

SF14は、キーワードの「クイック・アンド・ライト」特性を活かし、コーナリングスピードではフォーミュラ1マシン以上のパフォーマンスを叩き出します。この車両を採用して以来、レースの質が一気に向上した事から海外からの注目を集めるようになりました。

◎エンジン

日本を代表する自動車メーカーであるホンダとトヨタが次世代エンジン開発に貢献するコンセプト=NRE(※1)に基づき開発したHONDA HR-414E、TOYOTA RI4A を搭載しています。

このエンジンの特徴としては「燃料リストラクター」(燃料流量規制システム)を全機装備し、燃料流量を一定にすることにより燃料をいかに効率良く活用しパワーに結びつけるかが、勝負の鍵となります。

厳しい開発競争の結果、効率の良さを図る“正味燃費消費率(BSFC)”、“正味熱効率”では市販ハイブリット車以上の性能を発揮し

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next

J SPORTS

SONY
Action Cam

NIKKI-ICHI
人気酒造

ており、次世代エコエンジンの開発に貢献しています。

(※1)NRE エンジンについて

ホンダ、トヨタ、ニッサンが、環境技術とモータースポーツの面白さの両立に向けに決定したエンジン規定。

- ・気筒配列 : 直列4気筒
- ・排気量 : 2,000cc+ターボ
- ・燃料吸気方式 : ダイレクトインジェクション
- ・燃料流量制限 : 鈴鹿、富士大会…燃料流量95kg/h
その他大会…燃料流量90kg/h

◎オーバーテイクシステム

レースを盛り上げる一助として、オーバーテイクシステム(以下OTS)を2009年より採用しています。このシステムは、スーパーフォーミュラが始めた仕組みです。

当該システムはレースに於ける見せ場の一つである追い越しをより促すシステムです。

SF14のシステムは各エンジンに装備されている燃料リストリクターを活用し、燃料供給量を一時的に増加させパワーを上げることができます。(※2)ステアリングにあるボタンを操作し、1大会につき5回、各20秒間使用可能となります。使用中はドライバーのヘルメット後方にあるランプ(オーバーテイクランプ=OTL)が点滅し、観客からも視認できます。

またポイントリーダードライバーは、その栄誉を称える意味から1台だけ赤色のランプ(名称:リーダーズレッド)を装着しています。

(※2)オーバーテイクシステムの効果について

- ・メカニズム : システム作動時に燃料流量を10kg/h増加させる
- ・効果 : 約60ps、10%の出力増
- ・ルール : 1回に20秒間作動、1大会で5回使用可能

◎タイヤ

今シーズンより横浜ゴム製のワンメイク供給です。同社における国内トップフォーミュラへの参戦は1996年以来20年ぶりとなります。横浜ゴムのスーパーフォーミュラ用ADVANレーシングタイヤは、スーパーフォーミュラが要求するグリップ、耐久性、安全性などの厳しい目標に対し、高いパフォーマンスを発揮、レースの盛り上げに貢献しています。

今大会は、従来の仕様(ミディアムタイヤ)に加え、新たにもう1種類(ソフトタイヤ)を導入いたします。予選から決勝までの1大会中に使用できるタイヤのセット数(1セット:前2本・後2本)は、新品ミディアム2セット、新品ソフト2セット、前戦からの持ち越し(中古)タイヤ2セット、の合計6セットです。

尚、ソフトタイヤの側面には、ミディアムタイヤとの識別のために、赤色の帯がプリントされています。

5. 公式予選

ツインリンクもてぎロードコース(1周:4.801km)を、決められた時間内に、各チームが1周タイムのベストをめざし、ノックアウト方式でタイムアタックを行います。

ノックアウト方式とは、予選時間を3つに分け、短いアタック時間の中、好タイムが出なければ文字どおりノックアウト(脱落)されることから、この呼称となりました。19台エントリーの場合では、まずQ1(20分間)で15位~19位のスタート位置を決定し、10分間のインターバル後、Q2(7分間)を行い9位~14位のスタート位置を決定します。さらに10分間のインターバルの後、Q3(7分間)を行い、1位~8位の決勝レーススタート位置を決定します。

6. 決勝レース

ツインリンクもてぎロードコースを52周、トータル249.652kmを走行します。

今大会では、2種類のタイヤの導入にともない、決勝レース中に必ず1度以上はタイヤ交換を、かつ2種類共に使用しなければならない「タイヤ交換義務付け制」を規則で運用します。ただし、同時に2種類のタイヤ(前輪:ソフト、後輪:ハード)を装着する、という事は禁止事項とします。

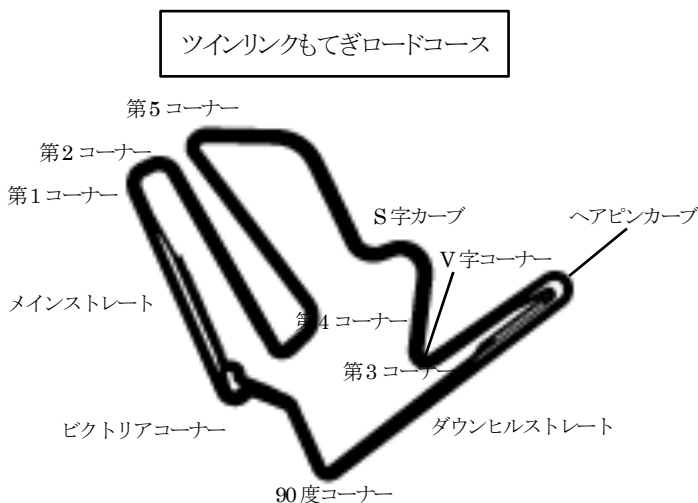
2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 開催スケジュール

日程	ラウンド/サーキット	予選方式	決勝レース方式
4 / 23 ~ 24	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250 km
5 / 28 ~ 29	第2戦/岡山国際サーキット	ノックアウト	250 km
7 / 16 ~ 17	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250 km
8 / 20 ~ 21	第4戦/ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250 km
9 / 10 ~ 11	第5戦/岡山国際サーキット (※)	時間 / ノックアウト	2 レース制
9 / 24 ~ 25	第6戦/スポーツランドSUGO	ノックアウト	250 km
10 / 29 ~ 30	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2 レース制

(※)熊本地震により、第5戦のオートポリス開催は中止となり、代替レースとして岡山国際サーキットにて開催いたします。

7. ツインリンクもてぎロードコースについて

全長距離、フルコース4.8kmを誇るヨーロッパアンスタイルのロードコースです。コーナー数14(右8、左6ヶ所)、最大直線長762m、最大高低差30.4mのこの国際規格サーキットでは、多彩でエキサイティングなレースが楽しめます。また、そのレイアウトから非常にブレーキに厳しいコースと言われています。



2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第4戦 ツインリンクもてぎ大会 エントリーリスト

(車両:SF14、タイヤ:ヨコハマタイヤ)

Car No.	ドライバー名	生年月日	出身地	チーム名 (読み)	監督	エンジン
1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981/4/23	日本/東京都	P.MU/CERUMO・INGING (プロミュー/セルモ インギング)	立川 祐路	TOYOTA R14A
2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990/9/12	日本/神奈川県			
3	ジェームス・ロスター James Rossiter	1983/8/25	イギリス	KONDO RACING (コンドー レーシング)	近藤 真彦	TOYOTA R14A
4	ウィリアム・ブラー William Buller	1992/9/17	イギリス			
7	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	1977/1/14	インド	SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン)	山田 健二	TOYOTA R14A
8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986/9/13	日本/兵庫県			
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986/11/20	日本/栃木県	REAL RACING (リアル レーシング)	金石 勝智	HONDA HR-414E
11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984/6/1	日本/東京都			
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988/7/11	日本/栃木県	TEAM 無限 (チーム ムゲン)	手塚 長孝	HONDA HR-414E
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	1991/7/25	日本/東京都	KCMG (ケーシーエムジー)	土居 隆二	TOYOTA R14A
19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	1981/7/13	ブラジル	ITOCHEU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウ エネクス チーム インバル)	星野 一義	TOYOTA R14A
20	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	1987/12/29	日本/東京都			
34	小暮 卓史 Takashi Kogure	1980/8/1	日本/群馬県	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ)	道上 龍	HONDA HR-414E
36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	1981/11/19	ドイツ	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	舘 信秀	TOYOTA R14A
37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985/1/11	日本/愛知県			
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989/9/15	日本/茨城県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	村岡 潔	HONDA HR-414E
41	ストフェル・バンドーン Stoffel Vandoorne	1992/3/26	ベルギー			
64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1989/1/29	日本/愛知県	NAKAJIMA RACING (ナカジマ レーシング)	中嶋 悟	HONDA HR-414E
65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	1986/2/23	ベルギー			

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 ポイントランキング

ドライバーポイントランキング

順位	No.	ドライバー	ポイント	4/24	5/29	7/17	8/21	9/11		9/25	10/30	
				鈴鹿 Rd.1	岡山国際 Rd.2	富士 Rd.3	もてぎ Rd.4	岡山国際 Rd.5-1	岡山国際 Rd.5-2	菅生 Rd.6	鈴鹿 Rd.7-1	鈴鹿 Rd.7-2
1	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	13	11	2	-	-					
2	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	10	-	-	10	-					
3	2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	9.5	8	1.5	-	-					
4	1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	9	-	6	3	-					
5	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	9	4	4	1	-					
6	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	8	-	-	8	-					
7	36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	7.5	2	0.5	5	-					
8	20	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	7	-	-	6	1					
9	41	ストフェル・バンドーン Stoffel Vandoorne	7	6	-	1	-					
10	3	ジェームス・ロスター James Rossiter	7	3	-	4	-					
11	34	小暮 卓史 Takashi Kogure	5	5	-	-	-					
12	11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	3	-	3	-	-					
13	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	2.5	-	2.5	-	-					
14	7	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	2	-	-	2	-					
15	64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1	-	1	-	-					
16	65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	1	1	-	-	-					
18		中山 雄一 Yuichi Nakayama	-	-	-	-	-					
8		小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	-	-	-	-	-					
4		ウィリアム・ブラー William Buller	-	-	-	-	-					

*表中ポイント数字の **太字**:優勝 下線:予選ポールポジション

チームポイントランキング

順位	チーム	ポイント	4/24	5/29	7/17	8/21	9/11		9/25	10/30	
			鈴鹿 Rd.1	岡山国際 Rd.2	富士 Rd.3	もてぎ Rd.4	岡山国際 Rd.5-1	岡山国際 Rd.5-2	菅生 Rd.6	鈴鹿 Rd.7-1	鈴鹿 Rd.7-2
1	P.MU/CERUMO・INGING (プロム/セルモ インギング)	17.5	8	6.5	3						
2	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウ エネクス チーム インバル)	16	-	-	16						
3	VANTLIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	15.5	2	0.5	13						
4	TEAM 無限 (チーム ムゲン)	12	10	2	-						
5	REAL RACING (リアルレーシング)	12	4	7	1						
6	DDCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・タンディライアン・レーシング)	8.5	6	2.5	-						
7	KONDO RACING (コンドレーシング)	7	3	-	4						
8	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ)	5	5	-	-						
9	SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン)	2	-	-	2						
10	NAKAJIMA RACING (ナカジマレーシング)	2	1	1	-						
	KCMG (ケーシーエムジー)	-	-	-	-						

*表中ポイント数字の **太字**:優勝

*チームポイント:各チーム(エントリー)に所属するドライバーの獲得ポイントを合計。同一チーム(エントリー)に2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分が得点対象となる。チームポイントには、ポールポジションのポイントは与えられない。

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next

J SPORTS

SONY
Action Cam

NIKKI-ICHI
人気酒造

—開催概要—

- 大会名称 : ツインリンクもてぎ2&4レース
2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第4戦 ツインリンクもてぎ
- 開催日程 : 2016年8月20日(土) 公式予選
2016年8月21日(日) 決勝レース
- 主催 : (4輪)
エムオースポーツクラブ(M.O.S.C.)
株式会社モビリティランド
(2輪)
一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)
株式会社モビリティランド
- 公認 : (4輪)
国際自動車連盟(FIA)
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
(2輪)
国際モーターサイクリズム連盟(FIM)
- 協力 : (2輪)
エムオースポーツクラブ(M.O.S.C.)
- 認定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)
日本フォーミュラスリー協会(JF3A)
- 後援 : スポーツ庁 / 観光庁 / 茂木町 / 東京中日スポーツ / 中日スポーツ / 中日新聞社
/ FM NACK5
- 同日開催 : 2016 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦 (J-GP2クラス)
2016 全日本フォーミュラ3選手権 第11戦&第12戦
N-ONE OWNER'S CUP Rd.9
MFJカップ選手権 第4戦 もてぎ大会
2016 もてぎロードレース選手権 第5戦

【TV放映予定】

● J SPORTS

全7戦の予選と決勝の模様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組も放送します。
放送スケジュールは、「J SPORTSモータースポーツ」ウェブサイト内の「スーパーフォーミュラ」ページ、
または「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」でご確認ください。

http://www.jsports.co.jp/motor/super_formula/、 <http://www.superformula.net/>

● BSフジ 『スーパーフォーミュラ Go On!』

あの時、あの瞬間、何が起きていたのか？レースの裏側を独自の視線でたっぷり振り返るハイライト番組。
ドライバーの想いやマシンの秘密に迫るミニコーナーなども加え、スーパーフォーミュラの魅力満載です。
レース翌週の金曜日に初回放送！再放送あり。

<放送日時> ※放送日時は変更となる場合があります。

第4戦 ツインリンクもてぎ8/20～21	8/26(金) 23:30～24:25 (再放送:9/3(土)23:00～23:55)
第5戦 岡山国際サーキット9/10～11	9/16(金) 23:05～24:00 (再放送:9/23(金) 23:30～24:25)
第6戦 スポーツランドSUGO 9/24～25	放送日未定
第7戦 鈴鹿サーキット10/29～30	放送日未定
総集編	放送日未定

● フジテレビNEXTライブ・プレミアム(CS放送) 『スーパーフォーミュラTV』

レースダイジェストとスタジオトークでスーパーフォーミュラの魅力を伝える30分の情報番組。
ゲストには参戦ドライバーに加え、トップフォーミュラの歴史に名を馳せたレジェンドたちも出演します。
過去の名場面から現在まで、二人のゲストがフォーミュラへの想いを熱く語ります。
司会はフジテレビF1実況アナウンサーです。

<放送日時> ※放送日は、レース翌週の金曜日。再放送あり。

第4回のゲストは塚越広大、松田次生。放送日は8/26(金)20:25～20:55。

詳しくは番組ホームページをご覧ください。 http://otn.fujitv.co.jp/b_hp/914200066.html/

● フジテレビ(地上波)『超速GO音』

今注目のドライバーや監督を毎回ゲストに迎え、知られざるレースの魅力、ドライバーの凄さやプライベートを徹底的に語りつくす、スーパーなアスリートトークショー。

小林可夢偉と中嶋大祐の二人の参戦ドライバーがパーソナリティを務め、番組の進行はピエール北川、そして乃木坂46の樋口日奈がナレーションを担当します。

<放送日時>

第4回のゲストは、ストフェル・バンドーン。放送日は、フジテレビは8/14(日)26:45～27:15、

テレビ静岡は8/25(木)26:45～27:15。

8/22(月)から動画配信サービスのFOD(フジテレビオンデマンド)で無料配信開始。

◎ 世界182カ国でスーパーフォーミュラの放送を開始！

今シーズンから各戦の英語版 52 分ハイライト番組が 121 カ国にて放送されることになりました。この時点で
確定している視聴可能世帯数は約 3500 万、ニュースのみの露出を加えると 182 カ国でスーパーフォーミュラ
の映像が流れます。

【映像の配信】

- ニコニコ動画
土曜日の予選を全戦生中継
<http://www.nicovideo.jp/>
- GYAO!
大会終了10日以降に、スーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信します。
<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>
- YouTube
予選ならびに決勝の競技映像をダイジェスト版にて当日夜配信します。
※配信日時は変更となる場合があります。
詳しくは予選ならびに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」
もしくは「YouTube」本サイトでご確認ください。
<http://www.superformula.net/> <https://www.youtube.com/user/superformulavideo>
- FOD(フジテレビオンデマンド)
フジテレビで放映中の『超速GO音』を、放送日の8日後から無料配信します。
<http://fod.fujitv.co.jp/s/genre/sports>

【インターネット/SNS】

- スーパーフォーミュラオフィシャルWEBサイト
<http://superformula.net>
- スーパーフォーミュラオフィシャルfacebook
<https://www.facebook.com/superformula.official>
- スーパーフォーミュラオフィシャル twitter
https://twitter.com/SUPER_FORMULA

【第4戦(ツインリンクもてぎ)のチケット情報】

- 前売観戦券(2日通し券) 大人1名:5,000円 ※中学生以下は保護者同伴に限り入場無料。
学割1名:2,500円(高校生以上の学生に限る)
※学割は引換券です。学生証をお忘れの際は追加料金2,500円が必要となります。
- 前売パドックパス【ピットウォーク付】 大人1名:5,200円 ※別途観戦券が必要。中学生以下は保護者同伴に限り入場無料。
- 前売ピットウォークパス 予選日 大人1名:2,100円
決勝日 大人1名:2,100円 ※別途観戦券が必要。中学生以下は保護者同伴に限り入場無料。
- 満喫セット券(2日間有効/大人券のみ) 大人1名:9,800円 ※通常料金より1,900円お得。
＜内容:観戦券(5,000円)+テラス入場券(1,500円)+パドックパス【ピットウォーク付】(5,200円)＞

*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
株式会社日本レースプロモーション 広報部
102-0074東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル
Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0131 e-mail:media@jrp-inc.net



TWIN RING MOTEGI



2016年全日本スーパーフォーミュラ選手権 第4戦

2016 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第6戦
J-GP2クラス2&4
RACE

8/20 SAT. 21 SUN

ツインリンクもてぎ 2&4 RACE

2016年全日本スーパーフォーミュラ選手権 第4戦

No 1 1

2016-08-20 16:20

SUPER FORMULA

COURSE : Dry
Road Course 4.801379Km

公式予選 総合 正式結果表

Pos.	No.	Driver	Type	CarName	Q3	Q2	Q1
1	20	Yuhi Sekiguchi	TOYOTA RI4A	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	1'33.002	1'33.214	1'33.468
2	1	Hiroaki Ishiura	TOYOTA RI4A	P.MU/CERUMO・INGING SF14	1'33.417	1'33.490	1'33.522
3	40	Tomoki Nojiri	Honda HR-414E	DOCOMO DANDELION M40Y SF14	1'33.677	1'33.380	1'33.851
4	36	Andre Lotterer	TOYOTA RI4A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	1'33.719	1'33.463	1'34.223
5	2	Yuji Kunimoto	TOYOTA RI4A	P.MU/CERUMO・INGING SF14	1'33.758	1'33.365	1'33.825
6	64	Daisuke Nakajima	Honda HR-414E	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	1'33.877	1'33.648	1'34.325
7	3	James Rossiter	TOYOTA RI4A	FUJI CORPORATION KONDO SF14	1'33.908	1'33.513	1'33.702
8	16	Naoki Yamamoto	Honda HR-414E	TEAM MUGEN SF14	1'33.988	1'33.426	1'33.785
以上Q3にて決定:							
9	41	Stoffel Vandoorne	Honda HR-414E	DOCOMO DANDELION M41S SF14		1'33.667	1'33.557
10	19	Joao Paulo de Oliveira	TOYOTA RI4A	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14		1'33.692	1'33.440
11	37	Kazuki Nakajima	TOYOTA RI4A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14		1'33.714	1'33.699
12	10	Koudai Tsukakoshi	Honda HR-414E	REAL SF14		1'34.021	1'34.568
13	4	William Buller	TOYOTA RI4A	FUJI CORPORATION KONDO SF14		1'34.548	1'34.290
14	8	Kamui Kobayashi	TOYOTA RI4A	SUNOCO TEAM LEMANS SF14		1'34.664	1'33.795
以上Q2にて決定:							
15	65	Bertrand Baguette	Honda HR-414E	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14			1'34.625
16	7	Narain Karthikeyan	TOYOTA RI4A	SUNOCO TEAM LEMANS SF14			1'34.678
17	18	Yuichi Nakayama	TOYOTA RI4A	KCMG Elyse SF14			1'34.741
18	11	Takuya Izawa	Honda HR-414E	REAL SF14			1'34.760
19	34	Takashi Kogure	Honda HR-414E	DRAGO CORSE SF14			1'34.853

以上Q1にて決定:

以上予選通過車両:

予選通過基準タイム (107 %) 1'39.980

Q1 : 開始時刻 : 14:10' 00 終了時刻 : 14:30' 00
 Q2 : 開始時刻 : 14:40' 00 終了時刻 : 14:47' 00
 Q3 : 開始時刻 : 14:57' 00 終了時刻 : 15:04' 00

審査委員長 : 御手洗 孝

競技長 : 高谷 克実

計時委員長 : 山西 真彦

御手洗 孝

高谷 克実

山西 真彦